

仏神宗

仏神寺柳山神社

かたかむなうたひ 式次第

かたかむな文字・ホツマツタエ文字

神仏とは、日々の生活の中で、

自然、風景、日々の事象の中から、

肌で感じ、気配を感じ、第六感で感じ、
全身で感じるものであり、

そして全てを教わる、

それから神仏との対話が始まる。

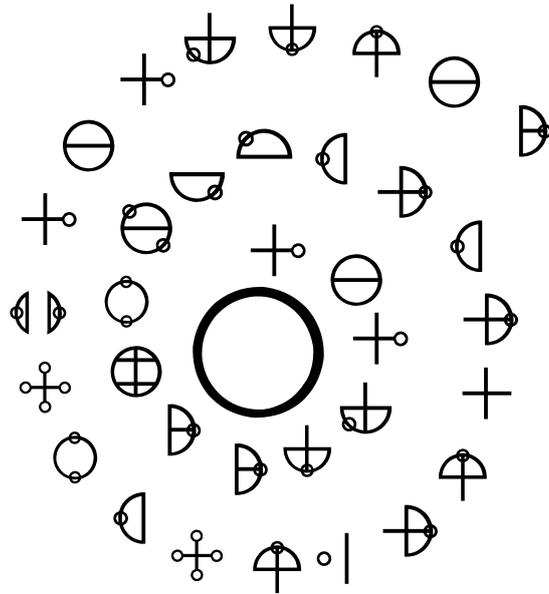
第一章

かたかむなうたひ

かたかむな文字

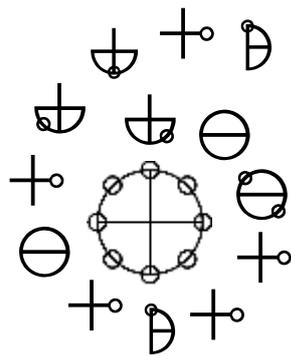
第一首

かたかむな
 ひひきまのすべし
 あしあとうあん
 うつしまつる
 かたかむなうたひ



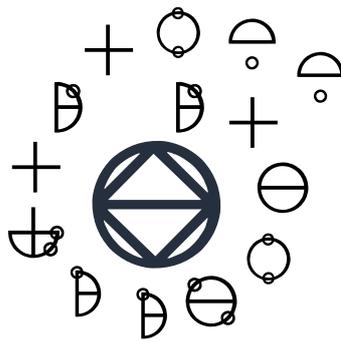
第二首

やたのかかみ
 かたかむなかみ



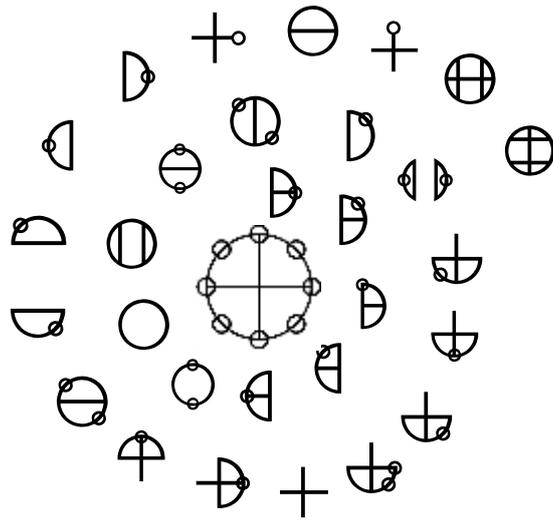
第三首

ふとたまのみ
みこと
ふとまにに



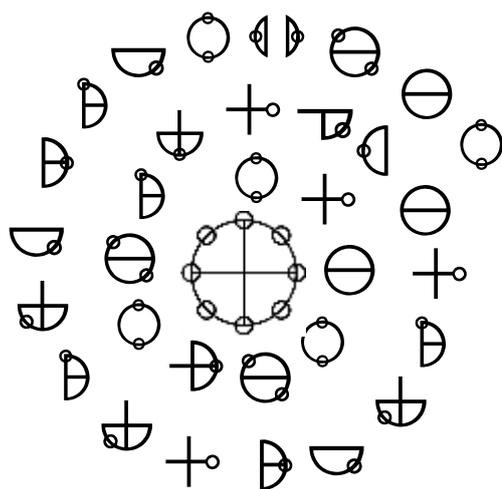
第五首

ひふみよい
 まわりてめくる
 むなやこと
 あうのすへしれ
 かたちさき



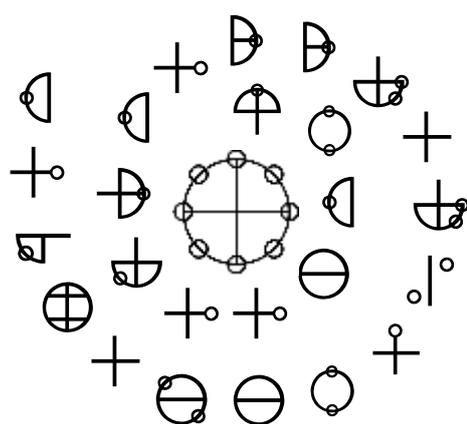
第七首

まかたまの
 あまのみなかぬし
 たかみむすひ
 かむみむすひ
 みすまるのたま



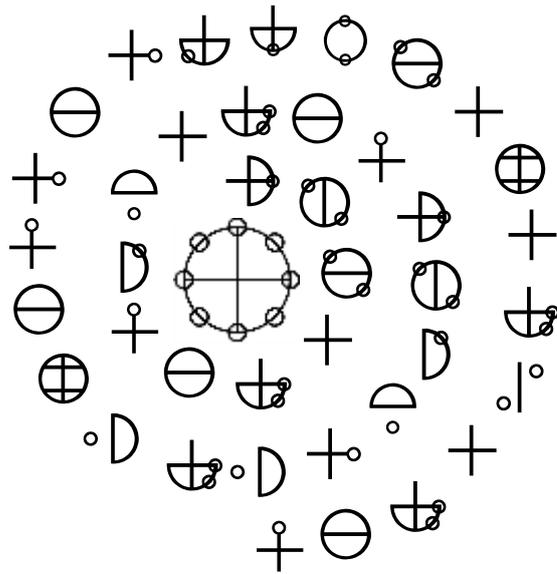
第八首

うましたかかむ
あしかひひこ
ところちまたの
ときおかし



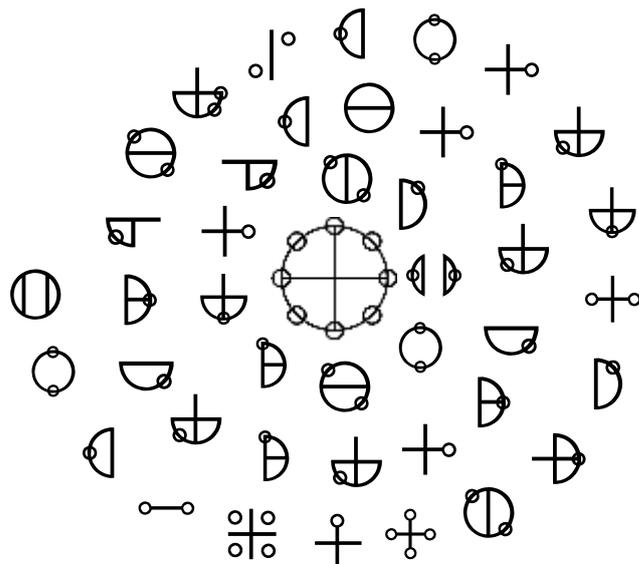
第九首

あめのとこたち
 くにとこたち
 あめくにか
 そこそきたち
 かたかむな
 まのときところ
 とこたち



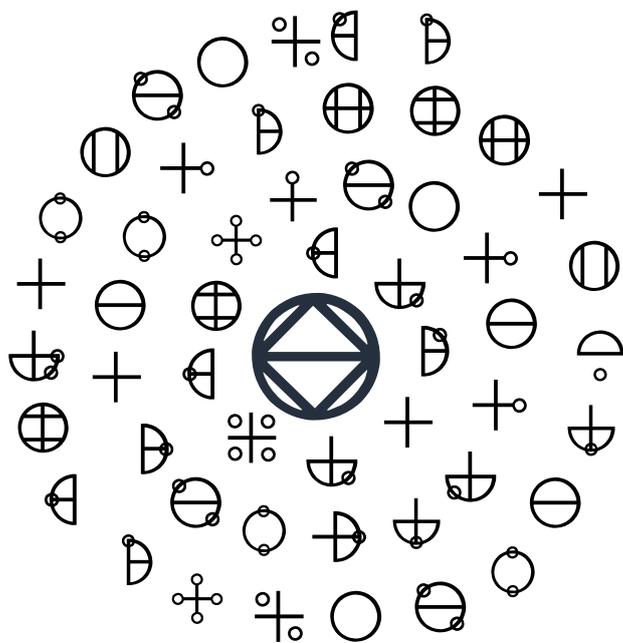
第十首

めくるまの
 みなかぬし
 たかみむすひ
 かむみむすひ
 おのころしま
 かむなほく
 あめつちね
 はしまり



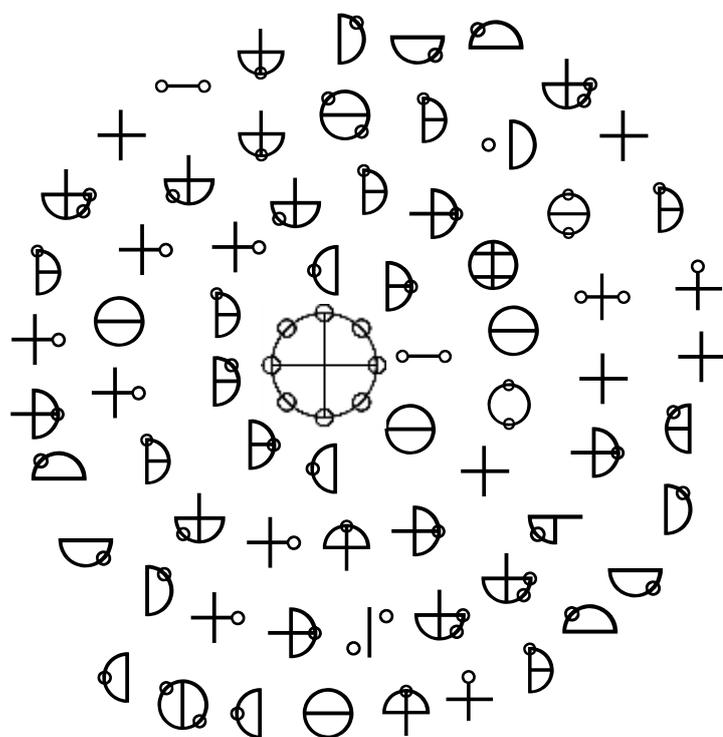
第十一首

いはふとや
 ねいきつちのわ
 かたかむな
 あまのひとたま
 かみさきさとり
 になたまの
 わけつみ
 いきことまりの
 わけよみ



第十二首

しひはた
 しひふみ
 かむみあきたまと
 あうかむみ
 かたかむな
 のみそてほと
 あおこころ あかくすへ
 あかみこと はなくすべ
 ことみち とよくすへ
 みちうたしめし



第十三首

すひちに つぬくひ
 いもいくくひ
 おほとのち
 いもおほとのへ
 おもたる
 いもあやかしこね
 いさなみ いさなき
 とよかふしぬ
 うきふぬ
 まかはこくに

